



第29話 珍しい職場体験

中学校の職場体験で、政治家になりたいという2年生の生徒さんを3日間受け入れることになりました。事前に関心がある分野を聞いた上で、議会質問の傍聴や、環境関係のNPOやウィズセンターでのお話、障がい者支援の会議などに参加してもらいました。盛り沢山の3日間で大変だったと思いますが、礼儀正しく、いろんなことに興味を持って意見を交わす姿に、すごいなあと感じました。後日もらった手紙には、「毎日が楽しかったです。…現場に行ってお話をする人とお話をするの大切

さを強く感じました」とあり、議員の仕事の一端を感じ取ってもらえて良かったと思いました。



おかやまエネルギーの未来を考える会」の廣本代表から、熱い想いをお聞きしました。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの養育受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子と暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第29号]
発行:2024年1月(2023年11月議会報告)

最新情報を発信しています

- Facebook: みどり岡山 www.facebook.com/greenokayama
- 大塚愛 www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
- みどり岡山ホームページ: https://midori-okayama.org/

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel.:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808



県政レポート(2024年1月発行) [第29号]



いっぽ通信

P.02-03 PFAS検出問題にしっかりと対策を

P.01 原発災害のリスクも、武器による抑止もいらない

P.02-03 おもな活動記録から「インクルーシブ教育/だっぴ」

P.04 愛ちゃんがゆく! —県議体験記—/日々のうごき(2023年10月~12月)



みなさま、こんにちは。
2024年は、元日から能登半島地震が起こり、波乱の幕開けとなりました。被災された方々が一日も早く生活を取り戻せることを願いつつ、岡山からも出来る支援を届けられたらと思います。能登半島には志賀原発があり、現在は停止中でしたが、震度7を受けて変圧器などの

故障が起きました。もし原発が事故を起こせば、2011年の東日本大震災の時のように、地震で被災した方を助けに行くことすら出来ない大惨事となりますし、道路が壊れた中では、住民の緊急避難も難しくなるでしょう。経団連の戸倉会長は昨年11月に志賀原発を訪問し、再稼働を急かしていたと聞きま

すが、今一度、地震列島の上で原発を動かす危険の大きさを考えてほしいものです。年明けには、イスラエル出身のダニー・ネフセタ伊さんの講演を



ダニーさんは秩父に住む木工職人さん。戦争が絶えない国で育ったからこそその強い願いを感じました。

聞きまし。ダニーさんは若い頃空軍に所属した経験もあり、かつてはイスラエルによる戦争を肯定していましたが、戦争のたびに殺される子どもの数が増えていく状況に、これはおかしいと気づいたそうです。「戦争は相手の憎悪を募らせるだけで、何の解決にもならない、対話こそが大事、武器をもつことが抑止力になるという考えを卒業することが平和への鍵だ」と、全国各地で

そのメッセージを伝えておられます。印象的だったのは、戦争で被害を受けるのは、家族を殺された人だけでなく、殺す側の兵士もそうだということ。イスラエルでは戦争がトラウマになって心を病む人が増えていて、日本の自衛隊でも最近その傾向があるとのこと。日本は防衛費増額をやめ、勇気をもって武器に頼らない平和を目指すべきと考えます。



絵描きをめざす長男は春から大学生。中2の長女は、最近着物好き。しっかり者の次女は9歳。日々忙しいけれど、子どもとの時間は癒しです。

日々のうごき

2023年10月~12月

- 10.9 マーケティング・イン・オカヤマ@ジッパリーナ・江田弘良さん写真展
- 10.10 環境対策視察@岡山ガス本社ビル
- 10.11 職業紹介ボランティア@後楽館中学校、たけハ中学だっぴ準備会、フラワーデモ@エキチカ広場



- 10.12 緑と水の道会議@絵図町、「Teamその子」上映会&トーク
- 10.13 常任委員会(農林水産)、香川県議会交流野球試合
- 10.14 はなよ復活@御津金川
- 10.15 加茂大祭、岡山県畜産共進会@真庭、子どもと地球の未来フェス@倉敷、広島女子議員の会online
- 10.16 自立応援室の視察@赤磐市立磐梨中学校
- 10.18 子ども施策視察@佐賀・福岡 ~20女性相談所訪問
- 10.20 岡山ゆいネット協議会シンポジウム
- 10.22 @岡山中央病院 デジタル田園健康特区視察@吉備
- 10.23 中央町 子ども未来・愛ネットワーク会議、
- 10.24 DV防止サポートシステムをつなぐ会 常任委員会、日本駆け込み寺訪問
- 10.25 @東京、LINネットシンポジウム
- 10.26 横浜創英中学校、神奈川県インクルーシブ教育推進課・城郷高校、明蓬館高校、川崎市子ども夢パーク
- 10.28 手話講座、PFAS問題会議
- 10.30 みどり岡山会議

- 10.31 おかやま妊娠SOSしえと訪問
- 11.2 工芸Expo@ハレノワ、PFAS吉備中央町説明会
- 11.4 御津しまいフェスタ、たんぼぼネットワーク定例会@吉備公民館
- 11.5 旭川かいぼり調査@建部竹枝、リアルボイス学生福祉国会@岡山さようだい会
- 11.6 岡山空港統合演習反対申し入れ@県庁、次代の農と食をつくる会online勉強会
- 11.7 県内調査津山商業高校・南支援学校)
- 11.10 通信運搬、中国四国農政局訪問
- 11.11 建部町文化祭(手話歌出演)、餅つき準備@吉田、統合演習反対リレートーク@岡山駅西口、フラワーデモ たけハ部出店@たけハマルシェ
- 11.12



- 11.13 インクルーシブ教育視察報告会online
- 11.14 食同源米コンソーシアム設立説明会online
- 11.15 常任委員会
- 11.16 観音寺用水ホテル放流下見
- 11.17 みつカフェ@岡山御津高校



- 11.18 笹が瀬川プラゴミ拾い、御津火花大会
- 11.19 緑と水の道一斉清掃、さよなら原発講演会
- 11.20 瀬戸内海法関連の懇談@県庁、DV防止啓発パネル展@岡山市役所
- 11.21 常任委員会
- 11.22 特別委員会(教育再生・子ども応援)、PFAS問題会議
- 11.24 県政市政おはなし会@津高公民

- 館、スライバーお話し会@高島公民館、拉致問題講演会@臨涼寺「高校のトイレに生理用品を」中間報告会@ハツシュタグ岡山
- 11.25 「NAGASHIMAかくりの証言」上映会
- 11.26 ことみら同窓会カフェ@北長瀬
- 11.28 たねをまもる会おかやま定例会
- 11.29 たけハ中学だっぴ
- 11.30 11月議会開会
- 12.1 通級指導実践報告会@津山北小
- 12.2 「百姓の百の声」上映会@備前
- 12.3 車いすテニスニューミックス大会@二日市公園、「希望の給食」上映会@真庭
- 12.5 代表質問(登壇)、職場体験(~12.7)
- 12.6 岡山のエネルギーの未来を考える会訪問、ウィズセンター来所講座、アスエコ訪問
- 12.7 たけハ家おこしパンフレット発送準備、パブリック友の会専門家会議
- 12.8 一般質問(~12.15)
- 12.9 プーさん文庫クリスマス会
- 12.10 みつ健康マラソン(親子3キロ)、第五福竜丸公演
- 12.16 加茂川ホリデイフォレスト
- 12.17 JDS岡山支部Xmas会
- 12.18 特別委員会、県政広報テレビ収録



- 12.19 常任委員会、高校生議会
- 12.20 障がい児者の支援懇談@たんぼぼネットワーク
- 12.22 11月議会閉会
- 12.23 河原邸訪問、新山地区餅つき
- 12.25 インクルーシブ教育フォーラム
- 12.26 高校生探究フォーラム、海ゴミ問題高校生会議



11月議会で取り上げたことから PFAS検出問題にしっかりと対策を



県議会録画
中継はこちら
から



「いっぽ通信Plus!」
動画はこちら
YouTube

自衛隊統合演習について

Q. 自衛隊統合演習で岡山桃太郎空港を使用することについて、県は防衛省からの要請を承認し、11月の期間中には戦闘機延べ12機による離着陸などが行われました。2022年末に閣議決定された安全保障関連3文書の方針により、実際に民間空港を防衛演習で戦闘機が使用するの今回が初めてのことで、県民にとっては大きな出来事であると言えます。岡山桃太郎空港での受け入れを検討するにあたっては、その安全性や今後の県民生活への影響も懸念されるため、本来であれば県議会における審議や、県民に対する十分な情報提供が必要と

考えます。しかしこの度はわずか2週間前の報道によって実施が知らされ、県民への情報提供も十分とは言えず、そのプロセスに様々な課題があったと思われます。今回の事態を受けて県民から届けられた意見をどのように受け止め、今後の対応策についてどう考えますか。

知事 国からは、国家防衛戦略に基づき、広く民間空港等を使用していく方針であり、あくまで一時的な使用であること、弾薬など爆発物を持ち込まず、岡山空港条例の規定にのっとり使用すると確約がなされたことから使用を認めた。今回、戦闘機の空港使用について様々な意見があると認識したところだ。今後、国からの要請があれば、その内容や状況をふまえて適切に対応していきたい。



リレートークには約50人が岡山駅に集まり、「新しい戦前にはいけない」と訴えました。

この度はプレス発表まで実施決定を公表しないよう防衛省から口止めがあったということですが、決定前に議会や県民に情報を伝え、語るべきと考えます。

有機フッ素化合物(PFAS)の検出問題について

Q. 吉備中央町の円城浄水場から、国の暫定目標値の最大28倍にあたる濃度のPFASが検出されました。上流域の資材置き場に置かれていた使用済活性炭を調査したところ、目標値の9万倍もの高濃度が確認され、発生源ではないかと取りざたされています。発生源特定や管理上の問題についてはいかがですか？

知事 活性炭の保管状況など、法的な問題がないか、専門家の意見を伺いながら調査を進めている。(12月末から町の原因究明部会で検討を始めている)

Q. 円城浄水場では、2020年度から目標値を超える濃度が検出されていましたが、報告や対策を怠っていたことが明らかになっています。一連の経緯をふまえて、水道水の安

全管理についてどのような問題があったと考えていますか。また、同様の事態が起こらないよう、どのように取り組みますか。

知事 今回の件は、重大で緊急に対応すべき事だという認識が町になかったことが課題であると考えている。この事案をうけて、県内すべての水道事業者と連絡会議を開催し、水質異常時の対応や点検実施などを徹底したところであり、今後立ち入り検査や講習会を実施して、管理能力の向上を図っていききたい。

Q. 地域住民の方は、血液検査をはじめとする健康診断などを求めています。健康に関わる専門部会を町は設置していますが、県としても健康不安の解消に向けて、支援を強化すべきですが、どう対応しますか。

知事 部会への参加や健康相談の職員派遣を行っており、町と緊密に連携をはかり、支援に努めていききたい。

笹井議員の一般質問では、知事が「町長が血液検査をやるべきと判断される場合は、その判断を尊重し、町長をバックアップしていきたい」と答弁。環境省が血液検査に後ろ向き姿勢をとる中、全国的にも自治体が血液検査をした例はまだないですが、住民からの要望を受けて、町長が血液検査を前向きに考えておられ、県も同意する考えを示しました。

悪質なホストクラブの問題について

Q. ホストクラブに通う若年女性にかかる問題が明らかになっており、県内でも高額な売掛金を重ねて借金を負ったり、学業や仕事が続けられなくなったりする状況がいくつも聞かれます。社会的基盤が不安定な若年女性に対して、支払い能力をこえる高額な売掛金の請求や、それにあわせて性風俗店へのあっせんが行われていることに倫理的問題を感じます。知事はどのように認識していますか。

知事 特に悪質な事案に対しては早急な対策が必要と強く感じている。県では、女性相談所において、さまざまな困難を抱える女性



ホストクラブ問題と被害者支援に取り組む「日本駆け込み寺」(歌舞伎町)の玄秀盛代表を訪問。



やその家族から相談を受けており、この相談窓口を周知し、関係機関と連携して支援に取り組むことが重要と考える。

Q. このような問題を防ぐための取り組みは。

知事 性的な被害やトラブルを防ぐためには、教育や啓発が重要。女性相談所による出前講座を支援学校などで実施しており、今後一層進めていきたい。

Q. 警察から強力な指導をすることも必要ではないですか。

警察本部長 風俗業が健全かつ適正に行われることが重要であり、今後ホストクラブなどの管理者講習において、さまざまな問題が発生している実態や法に抵触する行為などを示し、従業員に対する教育を徹底するよう強く指導していく。また、違法行為の取り締まり、立ち入り、迅速な行政処分を推進する。

インクルーシブ教育などの視察

@横浜創英中学・高等学校、神奈川県教育局・城郷高校、明蓬館高校、川崎市子ども夢パーク(10月26日~27日)

同じ関心をもつ議員と、神奈川県各学校や子どもの居場所の視察に行きました。障がいのある生徒が共に学べる県立高校、不登校になった子ども達が安心して過ごせる居場所や、一人ひとり

の個性や特性を活かせる学習支援、子どもの主体性を重視したプレーパーク、1~3年が混ざりユニークな授業スタイルを選べる中学校など、「今の教育にまさに必要!」と感じる要素をたくさん学ぶことができました。実現するには、教員の忙しさを解消していくことも大事な要素ですが、先進的な事例を参考にしながら、岡山のよりよい教育、子ども支援を考えていきたいと思ひます。

まなべ陽子さん(笠岡市議)はじめ、教育に熱心な議員仲間と。



おもな「活動記録」から

たけべ中学だっぴ

@建部中学校
(11月29日)

中学2年の生徒と、大学生と地域の大人と一緒に輪になって、それぞれの生き方や価値観を語りあうイベント

「だっぴ」を、地域の有志で開催して今回で7年になります。「建部町のことどう思う?」、「初対面の時に大事にしていることは?」などの題に沿って、一人ひとりの答えを聞きあう中で、共通点が見えたり、意見がちがうことの面白さを感じたり。中学生の感想からは「いろんな意見があって面白い」、「新たな考えが吸収できた」、「いろんな人と話せた楽しかった」と好評で、多世代で対等に語りあい、関わりあえる活動を、今後も続け

ていければと思います。



いろんな世代が上下関係なく、対等な場で語りあえる楽しさは「だっぴ」ならではの。